



*** ご挨拶 ***

委員長 中村 克宏

当連盟が創立15周年にあたることは前号でもふれ、企画を考えると内にもう暮れになってしまいました。しかし競技担当委員の大変な努力もあって15周年連盟テニス祭り、シェルコム仙台での室内テニス大会がそれぞれ100名前後の方々の参加を頂きました。多数の方々の参加が得られたことに感謝させて頂く一方、前から問題になっております会員の年齢構成について少し考えていく必要があるかと思っております。前号に会員の年齢構成の推移がのっていますが、これによると女子40歳、男子45歳の会員の相対数、ないし絶対数の減少、これに反して女子50歳、男子60歳以上の会員数は増加しております。私なりの理解では、発足当時より残っている会員の方が本会への入会を勧誘される場合、年齢の近い方に限られるのが一つの原因ではないかということです。この原因はおくとして、これによって起きてくる問題点があります。60歳前後を境にして、二つのグループが出来てしまったように見えます。年齢別、技量別の大会の場合は別として、その他の集まりの時は、同じレベルの年齢ないしは技量の方同士が試合をしたがり、場合によっては取り残される方が出てくることもあり得ないことではないと思います。逆に、年齢や技量を考えないでランダムに組み合わせを作って試合をしたのでは、試合にならないような組み合わせも出てくる可能性があります。当然、競技委員の方では極力このようなことの起きないように気配りしながら運営を進めているわけですが、参加された会員におかれましてもそのときの状況等をご勘案頂き、懇親的なご協力をお願いしたいと思っております。

問題点は沢山あると思いますが、もう一つ加えておきます。以前、壮年は45歳以上でそれ以下が一般という区分でした。今は、男子35歳、女子40歳以上を一般からはなして、ベテラン部門に加え、5歳刻みの年齢別の大会、たとえば、全日本ベテランテニス選手権大会があります。即ち、当連盟発足当時のベテラン年齢区分の規定と現在の規定との事情が少し変わってしまったわけです。これと対照的にねりんピックという大会が出来たために男女ともに60歳以上のプレーヤーの確保が問題となり、東北各県にも60歳クラスを中心としたシニアの集まりが出てきつつあります。このような状況下で問題となるのは、ベテランの低年齢層では技術指向、高年齢層では楽しむためのテニスと完全ではありませんが二極化の傾向が出て来て、それぞれにご不満をお持ちになる方が少なくはなからうと考えております。テニスはシングルスが基本なのにどうしてダブルスの試合しかやらないのかといったご意見も頂いております。

これらのことを一挙に解決することは当然不可能ですが、まず何が出来るか、これを運営委員は申すまでもありませんが会員各位のご意見を頂いて少しでも前進出来ればと思っております。

※※

=== 目次 ===

♪ ご挨拶	委員長 中村 克宏	1	♪ くりくりボール	平井 正光	12
♪ 平成12年度総会報告		2	♪ テニスとの出会い	渡辺 勇	14
♪ わんりんピック大阪大会について	仙台市高齢企画課	2	♪ 勝てないテニス	菅原 昭夫	14
♪ 第13回全国福祉祭に参加して	仙台市監督 矢田 吉明	3	♪ 壮年の会に参加して	工藤真理子	15
♪ わんりんピックに参加して	石塚十三一 猶子	4	♪ 私の最近のテニス生活	細野智恵子	15
♪ マスターズテニス大会に参加して	鈴木 穂子	5	♪ テニスとの出会い	有賀 昌子	15
♪ ダブルステニスの楽しさ	和田 忠彦	6	♪ 年齢別テニス大会に出場して	糸井 郁子	16
♪ 仙台を離れて	本間 満雄	7	♪ 壮年テニス連盟に入会して	小峰 良江	16
♪ 年齢別大会優勝者の一言	藤 東五郎	10	♪ マダムXより	匿名希望者	16
♪ 楽しいテニスを	石塚十三一	10	♪ 年齢別大会に想いをよせて	菅野志津子	17
♪ ミックス大会に優勝して	石塚 猶子	10	♪ 私のテニス	笹田真樹子	17
♪ 平成12年度大会成績		11	♪ 吾輩は迷犬クロウ	足 健輔	18
			♪ 室内WEEKDAY交歓会開催のお知らせ		18

とも打ち解けるなど雰囲気はますます盛り上がりを見せましたが、悪天候のため大阪上空でかなりの揺れがあり、伊丹空港に着くころは、皆無口になっていました。宿泊した大阪市内のホテルには、他都市の選手も宿泊しており、ユニホーム姿を見かけるとお互いに意識せずにはいられず、何とも言えぬ緊張感が漂っていました。

翌日ホテルから会場へはバスで移動しました。市街地の道々にはねんりんピックの旗が掲げられ歓迎ムードいっぱい、降車場から会場までの道すがらは地元の方から「ようこそ大阪へ」、「競技頑張ってください」、「大阪を満喫してください」などの声を掛けられ大いに歓迎されました。

総合開会式は、プロ野球の大阪近鉄球団の本拠地大阪ドームで行われ、午前11時から午後4時までの長時間におよび、まさに盛りたくさんの内容でした。大阪の歴史や地理を紹介するウェルカムアトラクションにつづき開式通告がなされ、続いて各選手団がそれぞれの都市をアピールしながらの入場行進を行いました。仙台市選手団は、ミニ七夕を手に白と紺の帽子に同色のジャケット、紺のパンツ姿で堂々と行進しました。山形県が花笠を手に行進するなど各都市趣向を凝らしての入場となりました。常陸宮同妃両殿下のご臨席のもと、大会会長の大阪府知事、津島厚生大臣のあいさつにつづき、ダンスや和太鼓演奏など、世代を越え、国境を越えたアトラクションの数々、地元テレビなどで活躍中のキャスターの行進、NHKのふたりっこでお馴染みの三倉茉莉奈、佳奈さんのアシスタントであっという間に時間過ぎ、最後は選手も参加しての河内音頭がありました。世代の垣根を越え国際色豊かななかにも大阪らしさを感じることをのける総合開会式でした。

総合開会式の終了後、自らの健闘を誓い、お互いの健闘を祈りつつ、各選手は競技ごとの宿舍施設へと向かいました。試合会場への移動や試合の合間をぬって観光に出掛ける時には、大阪府内の私鉄や地下鉄が大会期間中無料で利用できる「ねんりんピック記念乗車証」が大活躍しました。

11月4日からの交流大会では、各会場ごとに趣向を凝らした開会式やアトラクションが催され、将棋交流大会では米長永世棋聖や谷川九段をまねき指導対局を行うなど、全国の強者を出迎える開催地の意気込みが感じられました。試合内容も開催地の意気込みに負けず高いレベルでの争いになりました。仙台市選手団は個人競技や団体競技で優勝するなど健闘を見せました。テニスは初日の予選リーグで3

位、二日目は第3位グループでのトーナメント戦となり、惜しくも一回戦で敗退となりました。

文化交流、健康や生きがいづくりなどに関する多彩なイベントは、大阪城公園「太陽の広場」や大阪城ホールを主会場に行われ、地域文化伝承館、ファッションショー、国際シンポジウムなどは、ねんりんピックが高齢者のみならず、あらゆる世代を対象とした総合的なイベントとして根付いてきていることを印象づけるに、十分足り得るものでありました。

11月6日仙台市選手団の多くが大阪を後にしました。同日行われた閉会式には飛行機の時間の都合で参加できませんでしたが、健闘を誓い合った選手団士の再会に場は盛り上がり、メダルを見せ合ったり、健闘を称えあったり、どの顔も疲れた様子はなくすがすがしい笑顔につつまれていました。

今回は広島、次回は福島で開催されます。次年度以降参加する方々にもぜひ全国の皆さんとの交流を深めていただきたいと思ひます。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

*第13回全国健康福祉祭 大阪大会に参加して

仙台市選手団テニス監督 矢田 吉明

昨年第3回仙台市高齢者生きがい健康祭に参加して優勝または選考基準をクリアした、

男子65歳以上 本林高利 高橋重郎 渡辺 勇

女子60歳以上 加藤信子 日黒祐子

男子60歳以上 矢田吉明 山本誠一

の7名編成による、仙台市テニス選手団が決定して、初顔合わせが出来たのは7月23日でした。7名による練習会を8月に1回、9月に3回、10月に3回、おもに、壮年テニス連盟のウィークデイ交歓会の参加と、県代表との合同練習会を利府のグランディ21で2回行いました。7名とも夫れ夫れ、週3回以上自分のホームグラウンドで練習に励んでいるので、練習不足の心配はありませんでした。

10月5日の監督および代表者説明会をえて、10月24日仙台市役所にて団結式を行いました。

第13回全国健康福祉祭大阪大会・通称“ねんりんピック2000大阪”に向けて卓球、テニス、ソフトテニス、ゲートボール、ソフトボール、ベタンク、ゴルフ、マラソン、ソフトバレーボール、グランドゴルフ、剣道、なぎなた、太極拳、水泳、囲碁、将棋の16種目参加の選手、役員等119名が11月2日仙台空港から出発しました。

11月3日は大阪ドームで開会式のセレモニーが一日がかりであり、我が仙台チームも代表80名の開会行進を行いました。七夕のミニチュアを持っての行進でした。七夕のミニチュアはボランティアの中学生や高校生に大変喜んで貰って頂けました。セレモニーの構成、演出はさすが大都会のドームにふさわしいものでしたが、行進のための誘導が悪く、一時間近くも立ったまま待機と、お年寄りにはたいへんでした。ねんりんピック大阪のテーマは「なにわから 未来にかける 長寿の橋」2008年のオリンピック招致にかける大阪の意気込みが、このねんりんピックの行き届いた 親切 丁寧 奉仕の応接に表われていると感じました。

ドームでの誘導、連絡の難しさを除いてほぼ完璧な運営であったと思います。

さて、11月4日大阪市の鞆（うつぼ）テニスセンターで、61チームが参加して、16ブロックに分かれ予選リーグが行われました。仙台市チームは、Mブロック、和歌山県、茨城県、岡山県、仙台市の4チーム。結果は下記の通り。

試合方法・4ゲーム先取（3ゲームオールでタイプレック）。審判はS. C. U. (Solo Chair-Umpire)
第一試合 岡山県戦 試合順序は男子65歳、女子60歳、男子60歳の順で全ての試合が行われる。

	仙台	VS	岡山	
男子65歳	2		4	
女子60歳	0		4	0勝3敗
男子60歳	3		4	
	仙台	VS	和歌山	
男子65歳	3		4	
女子60歳	2		4	0勝3敗
男子60歳	1		4	
	仙台	VS	茨城	
男子65歳	0		4	
女子60歳	1		4	1勝2敗
男子60歳	4		0	

残念ながらMブロック最下位4位で翌5日、4位グループでリーグ戦に臨んだが大阪Bチームに、男子65歳 2-4、女子60歳 4-3、男子60歳 0-4 と1勝2敗で勝ち上がることが出来ませんでした。反省点として、試合前練習3分でストロークを軌道に乗せられる自信をつける事が必要と思いました。1~2ゲームで試合が決まってしまう事。太陽でまぶしい事を考えたコートを選び方。総体的に実力差は大差がないと思いました。

＊ねんりんピック2000 大阪大会に出場して

加藤 信子

去る11月3日~5日大阪市においてねんりんピック2000大阪大会が開催されました。大阪ドームでの総合開会式では「なにわから未来にかける長寿の橋」をテーマに華々しく開会が宣言され、夢のようなすばらしいアトラクションに酔いしれ、大阪人のかぎりないパワーに圧倒された。テーマ部門には矢田監督をはじめ7名の選手が参加した。

仙台市の結団式の祝辞で藤井市長より「遠くから見るとインターハイの結団式と見まごうばかりの若々しさ」とのお言葉をいただいたが、私たちからは「目をつぶればインターハイの入場行進の中にいるような、血沸き肉躍る感動を味わうことができました。」とお答えしたい。それに加えて大阪市の職員の方々、ボランティアの方々のきめ濃やかなお世辞に感動し、心より感謝申し上げたい。

テニスは鞆公園テニスセンターを会場に交流大会が開催され、仙台市は、岡山県、和歌山県、茨城県の強豪ぞろいの中にあって全く実力(?)は発揮されず、不本意な成績に終わり、次の日、5日のトーナメント戦に望みを繋いだのだが、相手は大阪Bチーム、あと一步のところまで敗退してしまった。この7名が心を一つにして戦うことなど二度とないだろうし、貴重な思いでとして大切にしていきたいと思います。

開会式の日、宿舎の阪神ホテルに向かう電車の中で、疲れ切ったような三人のご婦人の前に立った。カバンからのぞいていた赤い衣装を見つけて「さっきのマスゲームに出られたのですか」と声をかけてみた。「疲れてしもうて席もゆずらんとごめんね」との事があったので、孫のお土産にしようと持ちかえていた本林、高橋、渡辺の三おじいちゃんのミニ七夕を差し上げたら大喜びで握手、握手。市民との小さい交流の場をもつことが出来た。七夕には是非にと宣伝しておいたから、少しは役にたったかしらと自己満足している。

＊「第13回ねんりんピック 2000大阪テニス交流 大会」に参加して

石塚 十三一・猶子

「第13回ねんりんピック2000大阪」に宮城県代表として、和田忠彦監督（利府町）、鈴木総一郎、暎子夫妻（多賀城市）、外山担さん（岩沼市）のみなさんと一緒に私達夫妻も参加させていただき

ました。

5月の県マスターズ春季大会で代表に選出されてから、和田監督を中心にメンバー6名揃って、月平均2回、グランディ21のコートなどで練習を重ね、ペアとしてのダブルスゲームのすすめ方やチームの和づくりに努力して来ました。

今年の開催地となった大阪府、大阪市は2008年オリンピックの招致運動をすすめているため、本ねりんピックの運営はそれのリハーサルの意味もあり、大変立派な大会となりました。この成果はきっとオリンピック招致の一助になったものと思われま

す。初日(3日)の総合開会式は、あの大きな「大阪ドーム」が超満員となる中で、常陸宮殿下、同妃殿下、津島厚生大臣、太田大阪府知事、磯村大阪市長など沢山の来賓の出席される中で、59都道府県および政令指定都市、8500選手参加のもと、盛大に行われ、その内容と運営には大変感動いたしました。テニス交流大会は、都心にある16面のハードコート

を有する「靱テニスセンター」で開催され、私達の宿泊したホテルからは徒歩で20分の便利なロケーションでした。4日はまず、約5000人収容の立派なセンターコートで、61チーム、424選手が参加して、開会式が行われ、その後、直ちに予選リーグが開始されました。宮城県はKブロック(第10コート)で、まず初戦は地元神戸市と対戦し、調子の出ないうちに0:3で負けてしまいました。2試合おいた第4戦目に富山県と対戦し2:1で快勝し、最終戦の対愛媛県戦を待ちました。時刻も4時30分を過ぎ、

くなくなって来た為、既にゲームの終わった第6、7コートも利用することになり、3ペアが3コートに別れて、照明をつけての試合となり、やや集中力を欠いたプレーとなってしまい、残念ながら1:2で惜敗してしまいました。本来の力さえ発揮出来ておれば勝てた相手だったのにと後悔しています。

この結果、一位は神戸市(3勝0敗)、二位愛媛県(2勝1敗)、三位宮城県(1勝2敗)、四位富山県(0勝3敗)となり、私達は3位グループ決勝トーナメントに出場することとなり、明日の健闘を誓い合いました。5日の3位グループ決勝トーナメントでは、一回戦で茨城県と対戦し、すでにゲームの終わった仙台市チームの皆さんの応援をいただきながら頑張ったのですが、残念ながら、1:2でやぶれ二回戦進出の夢は絶たれてしまいました。

この大会を通じて感じた事は、各県、市チーム共、実力的にはそんなに大きな差はなく、1ゲーム先取ノードのゲーム運びの巧拙、ゲームへの集中のもって行き方などが、勝敗の行方を決めたのではないかと思います。

私達宮城県チームは、練習会を通じて培ったチームの和を柱に、試合中は和田監督から適切な助言、指示をいただき、ホテルに戻ってからも和田監督を中心に楽しく、且つ真剣に反省会を行うなど大変有意義な大会、経験となりました。

この大会を通じて、沢山の他県の方々との知り合いになり、且つ和田さんからは、県内の壮年テニス事情をお聞きするなど、これからの自分のテニス生活にも大変参考になりました。

最後になりましたが、今大会は各会場へは全て電車、地下鉄を利用しての移動でしたが、各駅から各会場までの殆どの交差点の辻には、制服を着たボランティアの方々が必ず道案内に立っておられ、迷う事なく会場まで行くことが出来、ボランティアの皆さんのご努力には本当に頭の下がる思いがいたしました。米年の宮城国体など、いろいろな競技会には大会のアンパイヤ、プレー進行など、競技大会運営のボランティアだけでなく、いろいろなボランティア活動が不可欠と思われるので、壮年テニス連盟の一員としてぜひともこの経験を生かして行きたいと思

ます。

*第10回東北 テニスマスターズ大会に参加して

鈴木 暎子

秋晴れの好天気恵まれた大会に初めて参加することになり、盛岡市太田スポーツセンターテニスコートの16面が、横並びするコートの真ん中で、大会委員長のご挨拶に始まり二日間の熱戦が繰り広げられました。地元役員の方々のご配慮により、滞りない進行で計られ、又宮城県の山内監督の綿密な打ち合わせと速やかな会場への移動、宿泊は目前に雄大な姿の岩手山を見渡せる紫苑で癒し、ケガもなく、楽しい思い出を抱き帰路についたことに深くお礼申し上げます。

エントリーされた皆様方に励まされ、こまやかな心遣いを頂き、感謝の気持ちで一杯です。また、私にとっては夫の転勤で、山形に在住していた時、硬式テニスを勧めてくれた旧友との二十三年振りのお会い、同じ趣味を通して巡り会えた喜びは一入りの思

いがあり、お互いに様々な出来事と向き合い乍ら、
続けてこられた健康な心身にエールを送り再会を約
束いたしました。ねんりんピック2000大阪大会
には、ラッキーなことに、夫も参加することになり、
和田監督との出会いになり開かれたチャンスです。
この様な人々の交流により、母を浄土に送り、ふさ
ぎがちだった日々を過ごしていた私が、ボールを追
い快汗を流す楽しみにひたる喜びを感じますのも年
齢、性別、職業を問わない、テニス愛好者の方々との
交流があってこそであります。これからも先輩の
皆様方を目指して、息の長いテニスを楽しみたいと
思っております。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

*ダブルステニスの楽しさ

和田 忠彦

今年も残り僅かになったなあと、日記帳のページ
を捲っていると、新年の所感欄に「可能な限り多くの
の大会に参加しプレーの幅を広げる。」と、抱負の
一つが目につきました。そこで、改めて今年度の大会
参加回数を数えてみると、25回となり月平均2
回は試合に参加していました。このことは、自分に
とってこれまでにない経験であり、又、昨年と異なり、
ダブルスオンリーであったのが特徴と言えます。

ダブルスは、今さら私ごときが云うまでもないこ
とですが、コンビネーションプレーであり、二人の
力が旨い具合に噛み合うと、二つの力が三にも四に
も発揮出来るところに、プレーの醍醐味があり、そ
れ故に反面シングルスと違った難しさもあります。

男子ダブルスも混合ダブルスにも固定したパート
ナーを持たない私は、この一年、お誘いを受けたり、
お誘いしたりして大会に参加してきました。
従って、ゲーム中パートナーの足をひっぱる場合も
多々あり、反省しきりといったところです。

この機会に、今年度参加した大会から得たものを
整理し、次年度に生かしたいと思います。

◎ パートナーの性格を事前に知っていると、メン
タル面でのホッローも可能。

3月に名取スポーツパークで行われた混合ダブル
スでのこと。相手ペアから「早くコートに入ってく
れ。」と、クレームをつけられたことで、ナーバス
になり、ミスを重ねたパートナーに、メンタル面
でのフォローが遅れてしまい、初戦敗退、コンソレ
ーションで3回戦まで進出しました。

◎ 相手のスピードやパワーに付き合わないで、自
分達のペースでプレーすることの大切さ。

5月の利府町長杯オープン大会では、20代のペ
アと対戦、なんとかこちらのペースでと考えまし
たが、ゲーム中ペアとの戦略面での意志疎通が不十分
で惜敗しました。エンド交代時のパートナーとの意
志疎通が大切。

◎ 力量互角の相手には、終始攻勢のネットプレー
を展開して勝機をつかむ。

8月に行われた、MVTF技量別大会では、パート
ナーに恵まれ、Aクラス優勝を果たすことが出来
ました。勝因は、相手を上回るこちらのハッスルプ
レーがナイスプレーを生み、後半になると相手の戦
意を挫いたところにあります。

◎ パートナーのプレースタイルを尊重し、それに
合わせたコンビネーションプレーが功を奏する。

9月の仙台市テニス協会会長杯混合ダブルスでは、
パートナーとよく練習する機会もあり、彼女の粘り
強いストロークでつないでもらい、チャンスボール
を逃がさずきめてポイントを取るパターンで思いよ
よらぬ準優勝でした。

◎ ワンポイント毎に行うポジショニングの確認で、
相手に攻め込まれない陣形を。

MVTF年齢別大会60歳の部は、対戦相手が少
なかったこともあり、優勝したとはいえ、諸手を上
げて喜ぶわけにはいきませんが、気心知れたパート
ナーと、ゲーム中ワンポイント毎に声を掛け合い、
まずまずのコンビネーションプレーが出来ました。

ダブルスは、シングルスのように、コート全面を一
人で走ってカバーするのと違い、戦略やテクニック
などの体力面以外の要素が、勝敗に大きくかかわっ
ていると思います。今は、自覚症状がないとは云
フットワーク、球速をとらえる視力、前後左右への
反応や瞬発力は、確実に衰えて行くシニアプレーヤ
ーに取って、ダブルスゲームは、まだまだ開拓の余
地がありそうです。パートナーの人柄を尊重し性格
を理解し合いながら、プレースタイルやテクニック
を共に補足し合うことで、多くの人と円満な人間関
係を結ぶことが出来るといった、ダブルスゲームな
らではの楽しさを満喫しつつ、より高度なテクニ
ックや戦略を追求していきたいものです。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



❖ 仙台を離れて ❖

2000年12月 本間満雄

私は昨年5月に22年間住み慣れ、15年間テニスと一緒にやってきた「宮城県壮年テニス連盟」の皆様と離れて、千葉県市川市に戻りました。町は、ふた昔前とはすっかり変わっており、テニスをやる環境も仙台とは大分ちがっていました。

① 町のこと

現在の市川市は人口45万、年間の一般会計予算額は1,100億円です。昭和36年、市川に住んだ当初は冬の晴れた日には、東京タワー、丹沢の山並み、そして雪を被った富士山まで一望できたのですが、今はアパート、マンションが立ち並び、窓を開けて手を伸ばすと隣家に届いてしまうくらい住宅が密集しています。農道のような道が今は商店街になり、我が家のすぐ裏側は焼肉屋、その隣がケーキ屋さんでいつも良い匂いが流れて来ます。市川市の中心部はJR総武線が東西に横切っており、その北側は、昔は永井荷風が住み、最近では亡くなられた東山魁夷のアトリエもあり、文化人の住んでいる処と言われたりもしますが、私が住んでいる南側は「青べか物語」で知られる行徳、浦安につながる行徳街道沿いで、昔は午後7時過ぎると商店の灯りは消え、人通りもまばらになったのですが、今は近くに市の文化会館が建設されて、催し物のある時は夜10時過ぎでも若者達がぞろぞろ駅に向かって歩き、夜中迄開いている店もあります。地下鉄の始発駅も出来、どこに行くのも便利になりました。都内は地下鉄が網の目の様につながっているのです、目的地に行くのにどれに乗って、どこで乗り換えて行けば早くて運賃が安いのかさっぱり分からなくなったので「駅すばあと」で調べています。これは非常に便利に使っていますが次々に新しい路線が開通するので、古いバージョンでは対応し切れなくなってきました。然し市川は古い町なのに区画整理もされないまま、次々と古い建物を壊して15階、20階のマンションが建てられ、道路が狭く一方通行も多く、車は混み、駐車場は高いので2~3Kmは歩いてしまいます。

② 気候のこと

仙台に比べたら先ず暖かいです。夏の夜は蒸し暑く毎晩エアコンをかけないと眠れません。機種が仙台のものとは違うので正確な比較にはなりませんが、仙台での8~9月の電気使用量は300KW位だったのに市川に来たらいきなり930KWになってし

まいました。その代わり冬は暖かです。家の外でも氷が張ることは殆どありません。仙台の寒さに慣れてしまっているので、今日は暖かいなと思って日中セーターを着ただけで外出すると、道行く人は皆厚手のオーバーを着て寒そうに行き来しており、コートを着ていないと恥ずかしいくらいです。

③ テニスクラブのこと

市川に移ることを決めた時、電話帳で比較的近い処にあるテニスクラブを探し、片端から電話して見ました。ところが全部が「うちはスクールと貸しコートで、会員制のテニスクラブではありません」と云う返事です。それで仙台に来る前に入っていたテニスの同好会に戻らせてもらいました。昭和49年に市川市で第1回の硬式テニス教室が開かれた後、その受講者が集まって作ったクラブで“シグニット(白鳥の子)テニスクラブ”と名付け、26年続いています。市営のテニスコートを抽選で借りて週に何回か練習をします。それともう一つ、市川市の隣の浦安市で練習している“日の出テニスクラブ”と云う同好会です。これは壮年テニス連盟の斎藤久仁子さんが紹介してくれたクラブで、斎藤さんのご子息がコーチを担当しています。こゝも浦安市営のコートを抽選で借りて練習をしていますが、他のクラブと親善試合をしたり、市のクラブ対抗団体戦に出たりし、千葉県テニス協会にも登録して積極的に強くなろうとしているクラブで、入会資格として「テニスの試合経験が3年以上あると認められる者」と云う規約があります。内々規としてはビールが飲めて、皆と楽しく飲談できる人となっているとか聞いています。どこのクラブも飲んで話すのが楽しく、また好きなようです。シグニットテニスクラブの方も同じです。

④ テニスコートのこと

市川市のテニスコートは4ヶ所で全部合わせても15面しかありません。屋内コートは勿論ありません。住宅化が進んでしまって、残るのは特産の梨畑と行徳方面の一部です。二十世紀梨が最初に作られたのは市川と境を接した松戸で、こゝから鳥取に行くと有名になったものです。近辺には梨畑が多くありますが、その原木のあった所はすでに住宅地となり、二十世紀ガ丘と云う町名だけで残っています。行徳は宮内庁のお狩り場のある所で鴨などの集まる湿地帯だったのを埋め立て、現在は高層マンションが立ち並ぶようになっています。梨畑はこれ以上つぶせないと思われるので、市がテニスコートを作ろうとすれば行徳方面しか無さそうです。シグニット

の会員は殆どが市の北側に住んでいるので行徳方面まで出ていくことはありません。使うのは国府台と菅野です。国府台コートはハードコート3面、クレールコート6面（うち3面は軟式主体）ですが硬式で使えるクレールコートの中の2面はパレーボールに使っていたものを転用している為面が悪くイレギュラーが激しいものです。使用料は1面2時間310円です。菅野は終末処理場の建屋の屋上に砂入り人工芝のコートを2面作ったもので、処理場建設時に近所に迷惑を掛けるからと作られ、近くの人達に開放されていましたが、今は抽選で市民に使わせています。週日は午前、午後に分けて、土曜・休日は2時間づつに分けて使われます。使用は無料です。コートの抽選は毎月決められた日に翌月の分がそれぞれの管理事務所で行なわれます。抽選の時は一つの同好会（クラブ）から何人も出てくるので200人以上も集まることがあります。一人1回分だけしか取れないのですが、シーズンには抽選に外れる人が沢山出てきます。国府台の場合は面の悪いコートは嫌われるので土、日分はそこを狙って男性会員の為のコートを確保したりします。浦安の方もやはり2時間単位で使用料も同じ程度のようなので。浦安市は近年になって計画的に開発されたところなので各町毎に公園があり、公園には殆ど何面かづつのテニスコートが併設されており駐車場もあります。私の知っているだけでも7ヶ所。砂入り人工芝、ハード、クレール合わせて25面あります。浦安市の総合運動公園はデズニーランドと川一つ隔てた処にあり、ここには夜間照明もあります。たゞ市営の屋内コートはまだないようです。クレールコートは人気が無いようで、他のクラブと親善試合をやる時は取り易いクレールコートを4面4時間まとめて取ったりします。

⑤ 大会のこと

千葉県大会、市川市民大会、浦安市民大会、日本シニア北関東大会、日本シニア千葉支部大会、ねんりんピック千葉県予選会等がありました。千葉県大会は年齢別で65歳以上の単、複があります。千葉に来たばかりで65歳代のパートナーが居ないまま軽い気持ちでシングルスの方にエントリーしましたがドローを見てびっくりしました。16名揃っていて少なくともそのうち6人は全日本ベテランテニス選手権大会のシングルス、ダブルスに出場している人達でした。東北ベテランで会った人も何人かおり、これは1回戦で負けました。市川市の大会は年齢別がありません。シグニットからは大会に出る人があまり居ないのでシングルスで出てみましたがこれも1回戦で若い人に負けました。55歳以上のシニア

大会が企画されたのでこれに出ようと申し込んだら人数が集まらず不成立になってしまいました。市川市の各テニスクラブには60歳台の人達が何人かおり、練習しているのを見掛けますが、シニアとしての組織が無いのでシニアだけの大会の企画もなかなか出ないし、企画されても参加者が集まらないようです。浦安市ではシニアだけの練習会をやるかとの話が出ています。千葉県の大会にも70歳代を作って欲しいとの要望が出ているそうです。千葉市にはベテランテニス連盟があります。日本シニアの関係で知り合った郡山の方から、10月にレジーナの森テニスコートで福島県の南マスターズと千葉市ベテランテニス連盟との親善大会があるが千葉に住んでいるなら参加しないかとの誘いがあり、千葉市の世話役に電話をしたところ千葉市内在住のシニアだけを会員にしているとのことで、この親善大会には郡山側に入れてもらって参加しました。お蔭様で千葉市の多くの人達と顔見知りになりました。市川市のミックスダブルス大会にはシグニットの女性と組んでBクラスで出たら優勝しました。市川はBクラスで優勝するとその後はどの大会にも、またパートナーが違ってもAクラスしか出られないことに決められており、シグニットにはAクラスで出ようという人が居ないので、その後は市の大会に出られずにいます。浦安市の大会は一般、45歳、55歳と分かれています。又、年1回ある浦安テニスクラブ団体戦と云うのがなかなか楽しいです。Aクラス、Bクラスがあり、成績に依ってはA、B入れ替えになります。1チーム5組で編成し、1つのクラブから男子、女子それぞれ何組出しても構いません。日の出クラブからは男子4組、女子2組を出しています。大会にはA、B、男女全体で23クラブ、85組位が参加します。団体戦なので応援する方もされる方も楽しいです。誘われて千葉県白子町の白子テニスフェスティバルにも出て見ました。白子町は九十九里浜に面したテニスの町として知られており町の中に数十の民営テニスコートがあり、民宿・ホテルも整っています。毎年6月に開催されるこの大会には、主として関東地区から2,000人以上の参加者があり開会式の時は壮観です。年齢別にはなっていないのですが1ブロック5組で総当りのリーグ戦を行ってブロック内の順位を決め、翌日各順位毎の決勝トーナメントを行うという方式でした。

⑥ 審判のこと

仙台にいる時、宮城国体にはテニスの公認審判員が多数必要になるので出来るだけ資格を取るように

との話があり、講習会に参加してC級公認審判員の資格をもらいました。市川に移って来た時、折角資格を取ったのにそのままにしておいても勿体無いと思い住所変更をしておいたら、今年になって千葉県テニス協会から大会のロービングアンパイアとかラインアンパイア募集の案内が来ました。審判員の資格は3年毎の更新で、それ迄に実際に審判の仕事をやって規定のポイントを獲得しておかなければならないし、勉強にもなると思い県大会のロービングアンパイアとF7JTA鷹之台オープンのラインアンパイアをやる事にしました。先輩に教わりながら覚えようと気軽に行ったのですがとんでもない、今年から県大会クラスの大会にもロービングアンパイアを付けなければならなくなったため審判員が足りないのです。当日16面を見るアンパイアは6名、レフリー以外男は私だけでした。あとは女子連の審判経験豊かな女性ばかりです。大会開始前のミーティングで審判上の注意事項が説明された後は直ぐコートに立って1人で4面を見るのです。ローテーションが決まっています1時間やって30分休憩、そして又直ぐコートに出るの繰り返しです。教わるにも傍に他の審判は居ないので全て自分で処理するより仕方ありません。難しい問題が起こった時だけトランシーバーで「本部どうぞ」と呼び出して指示をおおぎます。8オールタイプブレイクを忘れて9:8迄普通にやっしまいエンドチェンジの時気が付いたがどうしたら良いかと云われたり、Tシャツで試合を始めたのを見つけて着替えさせたり、1日中コートにいてテニスをやっているより疲れるし、日に焼けます。それでも休憩系時間に女性の審判からやさしく教わったりし、2回目の時は大分慣れ、又自信を持って審判が出来るようになりまし。県大会で特に選手に注意しておくように指示されたのは「アウト」は大きな声ではっきりとコールし「ジャスト」と云わないようにさせることでした。鷹之台の時はもっと大変でした。気軽に行ったのですが、選手の入って来ると駐車場にはベンツ、BMW他、スポーツカーなどがずらりと並んでいるのです。どうも一般大会にしては様子がおかしいぞと気が付いた時は後の祭り。これが賞金1万ドルの付いた国際大会だったので。チーフアンパイアに「ラインアンパイアをやるのは今日のはじめてなんです」と話すと「えっ初めて！ それでは2人制のラインジャッジは知りませんね。仕方が無いので始まる前に教わって下さい」と云われ、大会の始まる前15分間で女性審判員からボールの見方、判定の時の声の出し方、手の上げ方、そして2人制の時のラインアンパイアの位置、動き方の指導を受けたのです。ここも

審判員が足りなくて大変でした。やはり女子連に所属する女性審判員が主体で審判台に乗るアンパイアも女性です。外国人選手も沢山エントリーしているのである程度は英語が通じなければならず、大変な仕事だなと思いました。然もそれをボランティア的にやっているのです。ロービングアンパイアの際はセルフジャッジなので割合気楽でしたが、ラインアンパイアはアウト、グッドを瞬間的に判定しなければならないので非常に緊張します。その上2人制なのでサーブの度にセンターライン、サイドラインと素早く移動しなければならないのでますます大変です。移動の時、間違えて反対の方に動いてしまっであわてたりもしました。アウトは先ず声を出し、それから手をアウトの方向に出す、と云う事になっていますが声と手が一緒に出てしまい、ぎこちないものになってしまいます。普段の癖でつい「セーフ」と声が出てしまい笑われたりもしました。アウト、グッドの判定はボールを目で追い続けるのではなく、ボールがコートに落ちる前にその部分のラインに目を置くと良いと云うことも覚えました。きわどい判定をした後、主審とアイコンタクトをとり、主審もその判定を認めてうなずいてくれるのは嬉しいものです。このラインアンパイアも人数が足りないため30分コートに出たら30分休み、又30分やることの繰り返しで中腰になっていることが多く、集中して神経も使うのでロービングアンパイア以上に疲れます。又アンパイアは判定が間違っと思った時は自分で直ぐにコレクションとコールして訂正するのであって、一旦判定を下した後は選手の抗議によって判定を変えてはならないのです。きわどい所に入ってグッドと判定した時、体の大きな外人選手がラケットでボールの落ちたあたりを叩いて怒鳴っても（恐らく今のはアウトだと叫んでいるのだろう）自分の判定に自信を持って平気な顔をしていなければなりません。選手もある程度怒鳴るとベースラインに戻って又平気な顔でプレーを続けて行きます。休憩時間に控え室に行った時老婦人が居て、「男性の審判は少ないので貴重です。頑張ってください」と声を掛けられました。私が「今日初めてなので、ボールが際どい所にこないようお願いしながらやっています」と答えると、「私もそうでした」と云われました。その方が宮城黎子さんでした。何回かアンパイアをやらせてもらい良い勉強になりました。ジャパンオープンを見に行った時は、試合と同時に審判の動きもしっかりと見てきました。今2001年 デビスカップ 日本対タイ 2月17日、18日のラインアンパイア20名募集の葉書が来ています。これはミスジャッジをして国際問題になると大変なので応募

しないことにしています。(勿論B級以上で相当の経験者でないとならない仕事だと思いますが!)

今年は宮城県壮年テニス連盟創立15周年になりますね。10月7～8日の対いわき親善テニス大会には久しぶりで参加致しましたが、連盟の益々の発展を祈念すると共に、折があれば又連盟の催しに参加させて頂きたいと思っております。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

年齢別ダブルス大会(60歳)

優勝者の一言

藤 東五郎

MVTFに入会して、早三年過ぎようとしております。還暦より、宮城県の大会に参加しております。気仙沼では、シングルスが専門で、ダブルスはあまりしません。ダブルスしかないMVTFでは、私も妻もダブルスの動き方がわからず、前にも出られず、右往左往するばかり、このごろどうやら、わかりかけてきて面白くなってきました。パートナーの和田さんのアドバイスのお陰で、年齢別ダブルス(60)で優勝できました。

二年目の昨年より妻(征子)も入会し、ミックスの試合に出ています。妻はテニス歴8年、これ又、シングルス専門でダブルスの動き方が皆目わかりません。MVTFの試合に出た所、血圧が一気に100以上高くなった様、体重の割りには足も気持ちも空を飛んでいる天女の様です。落ち着け! 深呼吸! ボールをよく見て! などと三大会に出て、1勝11負・・・。なかなか勝てません。

俺はシングルス一筋に孤高のテニスライフを送ろうかと自問自答・・・だが、しかし、ミックスの試合はMVTFにしかなく、それを楽しみにしている妻の顔を見ると、いくら負けても試合経験をつんで度胸がつけば、いつか光りがさしこんでくるのでは・・・と期待して、来年も出ようと思っている今日このごろです。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

* “楽しいテニスを”

石塚 十三一

60歳を過ぎてからも、こんなに充実した楽しい日々を送る事が出来るとは想像もしていなかっただけに、とても幸せにおもっております。これもテニスを趣味にしていた為とテニスに感謝しております。

壮年連盟では、多くの先輩のかたがたに優しく、且つ親しくおつきあいただき、テニスを楽しむだけでなく、いろいろ沢山の事をご指導いただき感謝

の言葉もありません。

又、スポーツクラブでも、テニスを通じて老若男女、多くの人達との仲間作りが出来て、それらのかたがたと、コート上だけでなく、食事会や旅行などを含め、今までとは異なった世界を一緒に楽しませていただくようになりました。

そんな仲間達と各々ペアを組んで、今回初めて混合ダブルス大会(パートナーは目黒祐子さん)に参加し、嬉しい結果を得る事も出来ました。これからも、毎日の楽しいテニスを大切にしたいと思っておりますが、今回の大会に参加した際の、一球一球の緊張感も又貴重な体験でしたし、他のスポーツでは味わえなかったものでした。試合の合間の皆さんとの交流もまた楽しいものでした。これからは出来るだけ参加させて頂き、WEEKDAY交歓会にも参加したいと思っております。諸先輩のみならずと同じように、いつまでもテニスが楽しめる様心身共に頑張っけて行きますので、ご指導くださいます様、宜しくお願い致します。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

*ミックス(Dクラス)大会

に優勝して

石塚 猶子

テニス歴はまだ浅いのですが、スポーツクラブに入り、テニスを通じて仲間が出来、壮年テニス連盟にもお誘いをうけ入会させていただきました。

ボールを相手のコートに返すことが精一杯だった私ですが、最近になりようやくゲームの面白さにひきづり込まれ、時間があればテニスをしたというこの頃でございます。あたかも漁師のごとく毎日の天気予報が気になり、頭の中にインプットされてあるスケジュールと天気予報を見合わせてテニスの予定を組むのも仕事の一つとなってしまいました。

今年、壮年テニス連盟に入会し、WEEKDAY交歓会、混合ダブルス大会と出席させていただき感じました事は、皆様のテニスに取り組む姿勢もさることながら、雰囲気は他のサークルや試合と違い、体力を作りながらもテニスを本当に楽しみ、会員同志の出会いを大切になさっているという事でした。新しく入会した私にとってもスムーズに飛び込める雰囲気は先輩諸氏がテニスを通じ人のつながりを大切に築き上げてこられたのではと痛切に感じさせられました。

昨今、自分の体力の衰えを感じながらも無理なくテニスを楽しみ、出会いを大切に、技術も向上出来ればと、自分なりの目標ができました。今後ともよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

♪ # ♪ 平成12年度大会記録 ♪ # ♪

平成12年度に開催された各種大会の記録です。壮年テニス連盟の記録は三大大会の優勝組です。
 仙台市、宮城県、東北の各テニス協会主催の公式戦については優勝及び準優勝、国際大会については三位までの掲載です。毎年、後期の会報に記録を掲載予定です。出場された公式戦等の成績を事務局までお知らせ下さい。

大会名称	主催	期日	会場	種目	成績	氏名
年齢別ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟	10/14	泉総合運動場	女子40歳以上	優勝	紺野智恵子 山崎山美子組
				女子45歳以上	優勝	糸井郁子 石亀幸子組
				女子50歳以上	優勝	佐藤勝子 小峰良枝組
				女子55歳以上	優勝	石橋りつ子 有賀昌子組
				女子60歳以上	優勝	菅野志津子 大賀やす子組
				女子65歳以上	優勝	武田義子 石垣春子組
				男子45歳以上	優勝	會沢政美 片平信行組
				男子50歳以上	優勝	庄司信雄 星 健輔組
				男子55歳以上	優勝	佐々木宏昭 岩月矩之組
				男子60歳以上	優勝	藤 東五郎 和田忠彦組
男子65歳以上	優勝	山内 宏 渡辺 勇組				
男子70歳以上	優勝	中村克宏 菅原昭夫組				
技量別ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟	8/27	泉総合運動場	Aクラス	優勝	和田忠彦 佐々木宏昭組
				Bクラス	優勝	但野久雄 大場幸男組
				Cクラス	優勝	高橋民子 置田真樹子組
				Dクラス	優勝	工藤真理子 西村剛子組
混合ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟	5/20	泉総合運動場	Aクラス	優勝	佐々木宏昭 山内伸子組
				Bクラス	優勝	庄司信雄 山崎由美子組
				Cクラス	優勝	石塚十三一 目黒裕子組
				Dクラス	優勝	小野則夫 石塚猶子組
仙台市民総合体育大会	仙台市テニス協会			壮年D	準優勝	鈴木義昭 青木興一組
仙台市テニス協会長杯	仙台市テニス協会	9/2	宮城野原	混合ダブルス	準優勝	和田忠彦 (佐藤ひろみ)組
仙台市高齢者生きがい健康祭	仙台市テニス協会	10/30	泉総合運動場	男子60歳以上D	優勝	神松伊三郎 有賀銀生組
					準優勝	北野寿一 岩佐義紀組
				男子65歳以上D	優勝	中村克宏 菅原昭夫組
					準優勝	菅野義治 北島 宏組
				女子60歳以上	準優勝	大賀やす子 (渡辺)組
宮城県テニスマスターズ春季大会	宮城県テニス協会	5/8	宮城野原	男子60歳以上D	優勝	山内 宏 高橋龍夫組
					準優勝	和田忠彦 藤 東五郎組
				男子70歳以上D	優勝	中村克宏 多久克夫組
					準優勝	高橋重郎 本林高利組
				女子55歳以上D	優勝	酒井倭子 渋谷陽子組
					準優勝	八重樫トモ 丸子和子組
				女子60歳以上	優勝	加藤信子 鈴木映子組
				女子65歳以上	準優勝	目黒裕子 石塚猶子組
					優勝	坂爪ミヤ 平井郁子組
宮城県テニスマスターズ秋季大会	宮城県テニス協会	11/13	宮城野原	男子60歳以上D	優勝	山内 宏 高橋龍夫組
					準優勝	和田忠彦 藤東五郎組
宮城県春季テニストーナメント	宮城県テニス協会	4/10~	宮城野原	男子55歳以上S	優勝	高橋龍夫 高橋龍夫組
				男子55歳以上D	優勝	山内 宏 高橋龍夫組
					準優勝	岩月尚文 (山本政彦)組
宮城県テニス選手権大会	宮城県テニス協会	9/18~	泉、宮城野原	男子55歳以上S	優勝	佐々木宏昭 佐々木宏昭組
				男子55歳以上D	優勝	藤東五郎 (本田徹)組
					準優勝	佐々木宏昭 有賀吟生組
東京オープンテニス選手権大会	東京テニス協会	4/26~	有明テニスの森	男子60歳以上S	準優勝	高橋龍夫
東北テニストーナメント	東北テニス協会	5/6~	泉PTTC	男子55歳以上S	優勝	佐々木宏昭
東北ベテランテニス選手権大会	東北テニス協会	7/25~	山形市営コート	男子60歳以上S	優勝	高橋龍夫 高橋龍夫組
				男子60歳以上D	優勝	高橋龍夫 (阿久津元秀)組
				男子70歳以上S	準優勝	中村克宏 (館林喜一)組
				男子70歳以上D	優勝	中村克宏 (一柳邦男)組
					準優勝	小野泰祐
関東オープンテニス選手権大会	関東テニス協会	5/29~	朝日生命久我山	男子60歳以上S	準優勝	高橋龍夫 高橋龍夫組
				男子60歳以上D	準優勝	高橋龍夫 (石黒 修)組
第24回ハンガリー国際ベテラン選手権大会	ハンガリーテニス協会	9/2~	ハンガリー	男子60歳以上S	3位	高橋龍夫 高橋龍夫組
				男子60歳以上D	優勝	高橋龍夫 (ENDRE KADAR)組

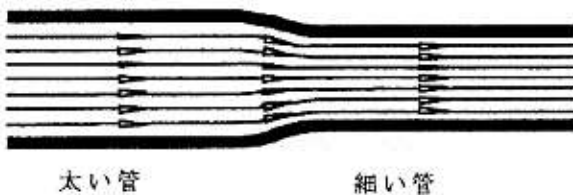
* くりくりボール *

平井正光

十月末のある日、キリンスポーツクラブのレストラン“petit vert”で食事をしていると、広報主任の酒井倭子さんが、にこやかに、「平井さんにお願ひがあるんだけど」!? これはとっていると、案の定、「会報に何か書いて下さい」との命令（正しくは依頼）でした。今まで会報を興味深くまた楽しく読ませて頂いていましたので、むげにお断りする訳にもいかず、心ならずも何か書くことになってしまいました。それで、私にとって書き易いのはテニスの中でも物理と関わりのあることだけですので、回転するボールのことを紹介したいと思います。壮年連盟の多くの方は物理と聞くと途端に拒否反応を示されることでしょう。そこで、この欄では“物理”ではなく“ぶつり”と仮名で書くような判りやすい“ものの理”で、なぜテニスのドライブボールはすとんと落ち、スライスボールは浮き上がるように飛ぶのかなどその理屈を判り易く（の積りで）紹介したいと思います。お付き合い下さい。ただし、この理屈をご存知の方は、時間の無駄ですから、以下は読まないで他の項目へどうぞ。

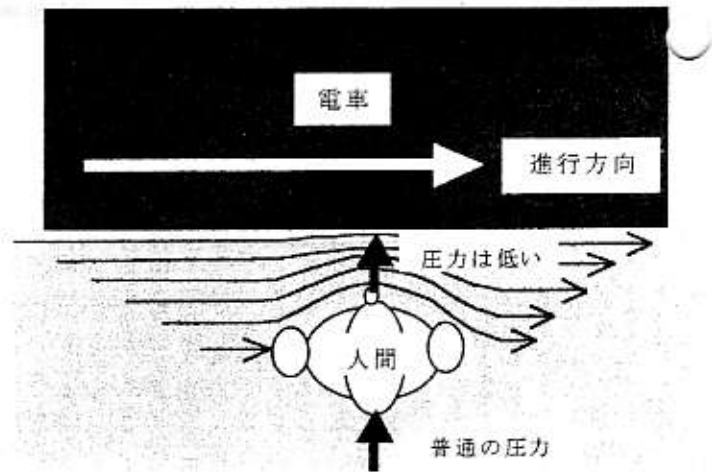
さて、駅のプラットフォームで電車を待っている時、プラットフォームの端近くに立っていると電車に吸い込まれる危険性があることをご存知の方も居られることでしょう。そうです、あまり端に立っていると電車に接触しなくても電車に巻き込まれて危険なのです。だから、端にあまり近づかないようにプラットフォームには白線が引いてあります。この現象が起こると同じ理屈でドライブやスライスボールのコースは変化します。その理由を以下に順次紹介しましょう。

流れ：遅い 速い
圧力：大きい（高い） 小さい（低い）

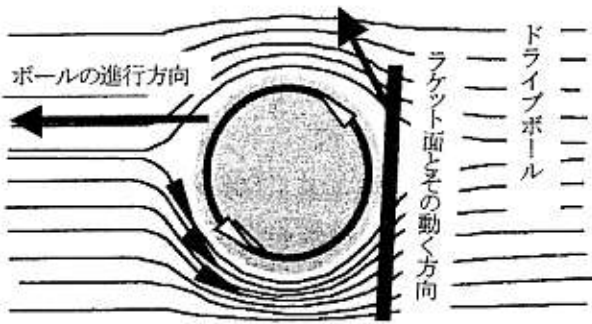


まず、ポイントになることを紹介します。空気のような形の無いものが、左下の絵のように、太い管から細い管に流れ込むとき、太い管を通過してきた全

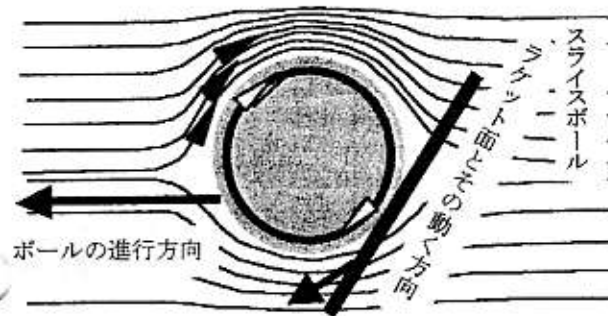
部の空気は細い管を通らなければなりません。そこで、細い管では空気は速い速さで通り抜けます。空気が太い管から細い管に押し込められるので、空気の圧力は大きくなるように思いますが、実は逆のことが起こります。絵のように空気が細い流れになると、流れが速くなり、また圧力が小さくなるということを実験で確かめ数式に纏めた人がいて、その人の名を取って“ベルヌーイの定理”と呼ばれています。“定理”と聞いただけで頭が痛くなる人が多いと思いますので、“定理”は忘れて下さい。とにかく、空気の流れが狭くなり速く流れると、その圧力は低くなるということがこの話のポイントです。



では、どのようにしてプラットフォームの人が電車に引き込まれたり、ボールのコースが変化したりするのか。電車の場合が上に描いてあります。空気は少し粘り気があるので、電車が動いていると、それにつられて空気も一緒に動きます。それは、電車がホームに入って来た時、電車の近くにいると風圧を感じることで判ります。その空気の速さは電車に近いほうが速く、電車から少し離れると空気は殆ど動いていません。従って、人間が電車の近くに立つと、絵のように電車と人間の間で空気の流れが狭められ、そこでは空気がより速く流れます。そうすると、ベルヌーイさんの理屈で人間と電車との圧力が低くなります。一方、人間の後ろでの空気の流れは殆どないくらいですから圧力は普通程度でしょう。そうすると人間の前後に圧力の差ができて、押す力と吸い込む力とで人間は電車の方に吸い込まれてしまいます。



ボールの場合はどうでしょう。上の絵を見て下さい。ボールにトップスピンをかけた時ボールを真横から見た絵です。ボールは進行方向に対して純回転しながら飛んで行くのはご存知の通りです。この場合、ボールは白矢印のように回転しているので、その回転につられて周りの空気は黒矢印のようにボールの下部に多く巻き込まれます。空気が多く流れると、それを速く後ろに送らなければならないので、空気の流れはボールの下部で速くなり、そこの圧力は小さくなります。一方上部では流れがゆるいので、下部より圧力が高くなります。従って、ボールは下に引き下げられ、フラットで打ったボールの飛ぶコースよりきついカーブを描いたドライブボールになります。スピンスアーブもこの回転です。



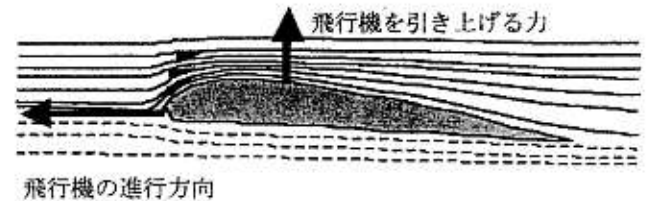
次に、上の絵はスライスボールを真横から見た絵です。ご存知の様にスライスボールはこの絵のように進行方向に対して逆回転しています。この場合空気は上へ巻き込まれ、ボールの上の圧力が低くなり、上へ引き上げられます。従って、フラットで打った回転の無いボールより浮き上がって飛ぶように見えます。この様な回転を更に極端に掛けたのがドロップボールです。ネット近くでボールの速さがおそくなると、ボールはストンと落ちます。

今までのボールは縦方向に回転している場合ですが、ボールを斜めや横方向に回転させると、その回転方向に従ったカーブのボールになることは既にご存知ですが、もう、その訳を説明する必要もないと思います。又、ドライブ（スピン）ボールやスライスボ

ールがコート面で弾んだり滑ったり、スライスボールをボレーするとネットし易いのは、ボールの回転と関係ありますが、空気の流れとは無関係です。

ところで、蛇足ですが、プロペラ飛行機やあの重いジェット機がスライスボールと同じ理屈で空に舞い上がっているといったら信じて貰えるでしょうか。多分、多くの人が飛行機やジェット機はプロペラやジェットエンジンの力で空中に引き上げられていると思っておられる事でしょう。しかし、そうではないのです。試しに、翼が無くてプロペラやジェットエンジンだけが付いている胴体だけの飛行機やジェット機を想像してみてください。それらが空中に浮かんで自由な方向へ飛ぶイメージが湧きますか？一方、グライダーはプロペラが無いのに自動車で前へ引っ張られるだけで空中に浮かぶではないですか。飛行機もジェット機もグライダーも空中に浮かぶためには、全て翼が重要な役目を果たしているのです。では、翼とスライスボールはどの点が似ているのでしょうか。

翼の上面は空気の流れが速く、圧力は低い



上の絵は翼の断面です。飛行機やグライダーが前へ進むと翼の上面へ多くの空気が流れるように設計してあります。空気が多いとそれらの空気を速く後ろへ送らなければならないので、上面の空気の流れは速くなります。人間が電車の方へ引き込まれるのと同じように、翼は上の方へ引き上げられます。この力で飛行機は空中に舞い上がるのです。スライスボールは回転で、一方翼はその形状で、それぞれ上へ流れる気流を作っています。この点が似ています。それでは、プロペラやジェットエンジンの役目は何でしょうか。これらはグライダーの場合の自動車に相当し、離陸時には少しは機体を上へ引き上げていますが、その主な役目は機体を前へ進めて、翼に絵のような気流を作ることです。飛行機やジェット機はこの様な自前の推進力を持っているので、空中に舞い上がっても、前へ進んでいる限り常に翼に浮力が働き、空に浮かんで飛ぶことが出来ます。この様に、飛行機が空に浮かんで飛ぶには、空気が必要です。

だから空気の無い大気圏外では飛行機は飛ばず、飛行機では宇宙へは行けません。(註：飛行機の場合、翼は進行方向に対してほんの少し前上がりの状態の時もあります。この場合、翼の下を流れる気流(点線)は翼の下面に突き当たり、飛行機を上押し上げる効果もあります。風の原理)

さて、紹介したような空気の流れだけであんな大きいジャンボジェット機が空中に浮かぶものかと信じられないでしょう。そうです、私も空港で重いジェット機が飛び立つのを見ていて、あんな重いものが空中に浮かぶなんて、とても信じられないくらいです。でも、仙台空港や成田空港から世界中のいろんな所へ出掛けられるのは、ベルヌーイさんのお陰なのです。

ところで、ヘリコプターやロケットは翼が無いのに空を飛ぶではないかと異議を申し立てる方も居られるかと思います。これらは別の理屈で空中に浮かび、また飛んで行きますが、話が長くなるので、その説明は、多分無いであろう又の機会にしましょう。

これでお終にしたいと思います。蛇足まで付いて一寸長くなってしまいました、最後までお付き合い頂き有難うございました。“ぶつり”の“ものの理”を少しでも判っていただけただしょうか。私たちの身の回りの生活や遊びに役立っている“ものの理”が多くあります。毛嫌いしないで“ものの理”にお付き合いください。最後に、ボールに回転を掛けると、そのコースが何故曲がるのかも判って頂けます。本壮年連盟にも回転のよく掛かったくりくりボールを得意とする方が居られて、私はしばしば悩まされています。皆さんも性悪のくりくりボールを使って、につつきライバルを大いにやつつけましょう。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

* テニスとの出会い

渡辺 勇

私が55歳くらいのとき、第2の人生として就職した自動車学校に勤務し、始めて間も無い頃、練習を担当した女子高生達数人が昼休み時間に所内コートでラケットとボールを使って楽しそうに打ち合っていて遊んでいる光景を見ていて「自分にも出来るのかな。よし、俺もアタックしてみっか。」 そんな気持ちになってテニスを始めたのがきっかけだったと思えます。

以来、近くのテニス教室と市のテニス協会の教室に各々2期位通って、どうやらゲームが出来るレベルまで上達し、本格的に自分流のテニス人生がスター

トしたのが真実のところですよ。

その後、B S T C (青木会長)の会員の一人として入会約12年間指導を受けながら日、祝日毎にゲーム等して楽しく過ごしております。また、恒例行事となった市の高齢者いきいき健康テニス大会にも第1回から参加しており、第3回では運よく準優勝して、銀メダルと賞状をいただいております。

因らずも今回の連盟の大会では、上級者の良きパートナー(山内さん)に恵まれ、私の人生始まって以来最初の優勝カップを手にして感無量といったところでございます。

さらに、今度はねんりんピック大阪大会にも参加させていただき、再三のビッグな幸運続きで私は何て幸せ者かと感激しているところであります。

先般(9月頃)中村さんのご親切により県壮年テニス連盟にも入会させていただき益々張り切っております。まだまだ試行錯誤の多いレベルですが、「がきこそもの上手なれ」主義でやる気と気力のあな限りまた体調と相談しながら続行したいと思いますので今後ともよろしくお願い申し上げます。最後に本会の益々のご発展と会員皆様のご健康を祈念して近況報告とさせていただきます。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

* 勝てないテニス

菅原 昭夫

私のテニスは勝てないテニスです。パートナーの中村克宏先生の隅から隅までのカバーによりまして、仙台市のシニアいきいきまつりテニス大会では、昨年は65歳の部、今年70歳の部で優勝しましたが、常日頃は連戦連敗の情けない毎日の物語、話を聞いて下さい。

私がテニスをはじめたのが55歳、スクールに通いながらAからの事始め、週一回のレッスンを16年間続けましたが、加齢も伴い遅々として上達が望めず、試合をやるようになったのは泉パークタウンテニスクラブの会員になり、さらに、七北田会、壮年テニス連盟に人会してからで、現場を知らない温床育ちのテニスのため勝てないテニスの毎日でした。気の毒なのはパートナーとなった人です。取れるボールをとらない、スペースを作り過ぎる、カバーをしない等など。何度も叱咤されましたが競技の世界は技、体力、知力、運動神経、予知能力等が相手を上回らないと勝てない。自分には優れているものはないのです。

物語りの一つとしてKご夫婦との練習試合です。囲碁の高段者、スキー、山岳、魚釣りの名人のKさん、

さらに年齢が私よりも10歳も若い。当然、消去法から見ても勝てる相手ではないが、負け方が悔しいのです。囲碁でいう嵌め手、釣りの撒き餌に見事にひっかけり、討ち取られてしまうのです。何度やっても勝てない天敵です。要するにこちらの攻撃が単純なのです。力めば力むほど相手の術中に落ち込んで行くのです。テニスクラブのコーチから云われたことがあります。「菅原さん、歯を食いしばってのテニスはそろそろ止めたほうが良いのでは」と。

思えば、教育が悪かったのです。戦陣訓でしごかれた少年Aなのです。勝てない相手と知りつつも攻撃こそ最大の武器として、つっこんで行く愚かさなのです。余りの単純さにKさんも笑ってボールを打ってきます。コーチに何度も注意されました。特攻隊のテニスは止めなさいと。知りつつもコートに入ったら無我夢中、周りが見えませんがKさんは短く、軽く、軟らかくボールの質を変えながら攻撃をします。あっという間に試合は終わり、床の中の反省、よし、この次ぎはと力んで挑戦を続けていますが、相手は輪をかけて強くなっていき、こちらは寄る年波に衰えるばかりで今日も負け。

負けの原因に体力の低下があります。特に視力の障害です。一昨年、室内スクールで天井の照明近くに上がったボールが見えなくなりました。ボールだけが見えないのです。5分ほど見えない状態が続き、平常に戻りました。その後、10日程して明るい屋外コートですボールが5分程見えなくなり、2年間眼科に通っていますが、内科も関係しており、心配のテニスをつづけています。ドームでのテニスは目に合わず、距離感が狂います。

勝てないテニスの原因の一つとして空中戦が嫌いなのです。ボレーも嫌いです。空中でボールを処理するのが、頼り無く不安なのです。若いとき、バドミントンをやっている時は何の不安もなかったのですがテニスを始めた年齢にも関係があると思います。色々と書きましたが、私のテニスは、これからも努力は続けますが勝てないテニスです。パートナーとなられる方は不運とあきらめ、いらいらせず、社会奉仕と思って面倒を見て下さい。日頃のご厚情に紙面を借りましてお礼を申し上げます。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

＊壮年の会に参加して

工藤 真理子

平日仕事を持っている私にとって、なかなか交歓会に参加することができないため、壮年の会入会も勇気の要ることでした。それでも、今年思い切って

入会を決意し、技量別ダブルス大会が事実上のデビュー戦となりました。肩肘張らず、力まず、とにかく楽しんでプレーしよう、ペアで話し合って臨んだ試合でした。

結果はともかく、とても楽しく試合が出来ました。それも、お相手をして下さった皆様方の優しさで、「テニス大好き」という、心意気によるものと思っています。

二人いればボールを打ち合うことができるということで、老後のためにと夫婦で始めたテニスです。二人どころか、いつのまにか、テニスコートのある所に移り住み、たくさんの仲間に出会えました。この出会いを大切に、又、楽しく参加出来たらと思っています。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

＊私の最近のテニス生活

細野 智恵子

私は、この頃、ほぼ毎日テニスをしています。「週に何日テニスをしているの？」と聞かれると、「原則上、日休み」と答えているものの、夫のつきあいでテニスをする事が多いのです。以前は、バレーボールの練習が、水、土にあるので、テニスは休みのはずだったのに、今では、雨が降らなければほぼ毎日テニスをしています。年々体がきつくなり、疲れが残るようになり、夜テレビを見ていてもいつの間にか寝てしまいます。見たい番組がいつの間にか終わってしまったということがよくあります。以前は本も読んでいたのに、我が家の子供たちはおかあさんは本を読まないと思ってしまうほど本から遠ざかってしまいました。テニスにはこんな力のめり込ませる魔力があるのです。こんな生活しているのだからと自問自答しながら一日一日が過ぎていきます。今が充実していて、楽しければそれでいいかと一人納得！

こんな生活ができる丈夫な体に生んでくれた両親と、こんなにテニスをさせてくれる夫に感謝 感謝！

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

＊テニスとの出会い

有賀 昌子

もし私がテニスをやっていなかったら今頃何をしていたでしょう。沢山のお友達も出来なかったでしょう。楽しかった思い出もなかったでしょう。

主人の転勤で名古屋から岐阜県大垣市へ移り住んだ時に、子供が大垣スポーツ少年団に入り、テニスをやり始めて、送り迎えしている内に私もやりたくなつてやり始めました。今日までこんなに長くテニスを

続けられたのはテニスのお陰で大きな病気もせず健康にテニスが出来ること、家族の理解があったこと、試合に出場し勝った時の感激、うれしさ、負けた時の悔しさ、その間の試合練習、テニス合宿、お友達との会話、お食事など楽しく緊張感を持ってテニスが続けられたからだと思いますが、何よりも良きテニス友達に沢山恵まれたことが最大の理由と思います。技術面ではテニススクールに通ったり、クリニックに参加して自分なりに一生懸命練習してきたつもりですが、なかなか上手にはなれませんがこれからも細くて良いから長く続けて行きたいと思います。最後に、年齢別ダブルス大会、いきいき祭りで優勝させていただき有り難うございました。パートナーに感謝有り難う。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

● 年齢別テニス大会 に出場して

糸井 郁子

運良く、石亀さんという素晴らしいペアに恵まれて、この大会に望む事ができました。一試合ごと苦しい試合が続く、気弱になりかける私でしたが、石亀さんの励ましの言葉とボールに対する粘り強さに支えられ、勝利を手にする事が出来ました。一年を振り返って見ると、昨年より試合や交歓会に参加した数は少なかったのですが、毎回白熱した試合ばかりで気の緩めない楽しい一年を過ごす事が出来ました。

役員の皆様、いつも心のこもった企画を考えて下さって有り難うございます。皆様のご苦勞の上にアグラをかいて、私達はいつも楽しくプレーさせて頂いております。壮年テニス連盟に加入して一年半、弱者の私にまでやさしく接して下さい本当に有り難うございます。これからも時間の許す限り参加していきたいと思いますので、宜しくお願い致します。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

● 壮年テニス連盟に 入会して

小峰 良江

ケバケバの黄色いボールに出会ったのは今から20年前になります。二人の子供が小学生になって自分の時間が持てる様になり、運動不足解消、何かスポーツでもやりたいと思っている時、友人に勧められて始めました。その頃はウッ드의ラケットでした。中学生の時に軟式の部活に入っていたので硬式のボールも抵抗なく打てました。それからは週に一

度のスクールが待ち遠しく感じる程すっかりのめり込んでしまいました。あの頃は台所にいてもいつもラケットを側に置き、ふっと気が付くとグリップは？ ボレーの形は？ サービスの仕方は？ 等等料理を中断しては一人で自問自答していました。その後は試合に出場しては、勝った負けたに一喜一憂し、今でもいくつかの試合は鮮明に思い出されます。現在は歳とともに友好テニスに変わり、ミスをしては「ゴメンネ」の言葉でゲームセットを迎えています。実は私は四年前に静岡から夫の転勤で仙台に移ってきました。誰ひとり知人のいない土地での不安はありましたが、テニスをやっていたお陰で友達にも恵まれ勧められて壮年テニス連盟に入会させていただきました。まず感じたのは、この連盟の規模が大きくて静岡より発展していることでした。役員の皆様のお世話も心温かく和やかで、時々耳にする東北訛りが新鮮に聞こえてほのほのとした気持ちに包まれ、私も宮城県にすんなり馴染むことが出来て幸福でした。10月には年齢別（50代）で佐藤勝子さんとのペアで優勝することが出来ましたことは、ペアは勿論皆様のお陰で楽しプレー出来ましたことを感謝しております。これからもこの連盟のますますの発展をお祈りし、いつか静岡に帰った時には、大いに自慢したいと思います。ありがとうございました。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

● マダムXより

投稿者匿名希望

チーム名「マダムX」（ムムムラー何だこりゃ）じつは、妖艶で理知的で裏で糸を引く大物がいるテニスサークルなんです。・・・しかし、その実体はダサくてちょっぴり生活に疲れた感じの、妖艶には縁がない、裏も表もない陽気なおばちゃん達のグループでした。あんまり目だったことはしていないけどこよなくテニスを愛してるのです。今後心臓が止まるまでラケットを離さないぞと誓った仲間なのです。（「ラケット」を「おちゃのみ」と変えても何ら問題はありません。）

さて、マダムXの活動を少し紹介しましょう。会員は7名、平均年齢不明、週一回七北田公園か泉コートで2時間至福の時を過ごしています。ここで忘れてはいけない人物がいます。皆さんご存じのKコーチです。年齢のわりには引き締まった体、シャープな面立ち（少しお世辞かも）、おしゃれなファッション（ほとんどお世辞）でいつもいつも一生懸命優し

さと厳しさを微妙絶妙織り混ぜながら（お世辞めき）私達を導いて下さる御仁なのです。最初の1時間は彼の指導のもとにみっちり基礎練習をします。まずフォームに気をつけながらラインぎりぎりの大きなストロークをゆっくり打つことから始まり、ボレー、スマッシュ、サーブ、リターン等結構盛りだくさんのメニューです。あとの1時間はほとんどゲームを楽しみます。練習の成果をここで披露しないのが私達の奥ゆかしいところで、Kコーチにすれば歯痒いところなのでしょう。それなりに汗をかいたところでコートの上の活躍はおしまいになり、次ぎはクラブハウスでお口の活躍になるわけです。また、たまには親睦会や年に一回ほど一泊温泉旅行？ではなくてテニス合宿に出かけます。それはそれはきびしいものなんです♪♪♪・・・

マダムXチームの紹介はこんなものなのでしょうか。よかったですら遊びに来て下さい。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

●年齢別大会に

想いをよせて

菅野 志津子

10月14日、この日は絶好のテニス日和でした。なのに何故か大会に参加することが一寸辛くなってきた事があります。それは参加する為の早起きです。ここ4～5年主人とののんびり生活に馴れてしまいお弁当持参の6時起きは億劫に感じるようになりました。何年か前までは鼻歌まじりでお弁当、飲み物などを用意して、サー出掛けましょうと、張り切りが有ったはずなのに・・・と見つづつ60歳の部の参加に相応しい思いで大会に挑みました。

トナーは今年、この年齢資格に、ほやほやの大賀やす子さんです。女子60歳以上の部のエントリー数は6でした。それを抽選で2グループ分けて、その後は勝者のトーナメント方式で3位までが入賞となりました。やすさんと迷コンビで最終戦は、2000年ねんりんピック仙台市代表の加藤さん、目黒さん組との対戦となりました。さすがこの日迄の練習の成果が上がって居らして、なかなかのコンビネーションでした。こちらも、ほやほやのやすさんが落ち着いて堅実なストロークをして下さったお陰でテニスの女神様が私達迷コンビに微笑んで下さったのでしょうか、めでたく優勝させていただきました。今朝我が家を出るときの横着な心は何処へやら、すっかりテニスの虜になって、一日やすさんと心地よい時を過ごさせて頂きました。

今日の大会もそうでしたが、ノーアドバンテージ、この言葉は最近すっかり耳慣れた言葉になりました。当連盟だけじゃなく各地域予選及び大会等でも要項の中に多く見られるようになりましたね。この一球のボールの運びで勝負への近道となりますが、私等はいかにしてこのゲームを自分達に有利に方向へ持って行けるのではなく何となくクリアしたいとの思いしかない様な気がするのです・・・。技量の面で難しい事は出来ませんが、これはお薦めの秘法をご存じの方が居らっしゃいましたら是非ご教授下さいませ。宜しく願致します。

一年前になりますが、福井でのねんりんピックに参加の折にも何度か迎えたノーアドバンテージでしたが、悲しいかな、ほぼ取れずじまいだったと記憶しております。そんな苦い思い出のまま今だにダメですね、可哀想な自分を技量と精神力に乏しい人だから仕方がないと自負しております。

お話しは飛びますが、女子60歳以上の部は優勝しますとカップが2コ頂けるんです。当連盟杯と菊田杯です。そろそろ菊田杯も授与された方が菊田さんを語れる年代、そんなカップにしてあげるのが良いのではないのでしょうか？このカップは奥井さんを始め他のお姉様達がお元気でテニスを続けていらっしゃる限りいずれのお宅に有るべき姿と思います。今年の年齢別大会にはお姉様のお顔がお見えになりませんでした。皆様何らかの事情で参加されなかったのかも知れませんが、ふと淋しさを感じました。65～70歳以上（女子の部）の少ない人数でも気楽に参加出来るような、別格のゲーム方法があって欲しい等と勝手に思う者です。

年中、競技に関しても、会員さんに関しても頭を悩ましていらっしゃる役員の方に叱られそうですが、私もすぐに追いつく道ですから、そんな時単独参加が出来て、テニスは楽しく、久しぶりの友との語りも良し、この一日に悔いなしと思える年齢別大会であることを願います。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

●私のテニス

置田 真樹子

私達は似た様なテニス歴でお互いバックハンドのストロークやボレーがほとんど出来ない数年前からペアを組んで、去年は年齢別（50歳）、今年は技量別Cクラスで優勝させていただきました。

民子さん ありがとう！

私は40歳近くになって（実はテニスに二種類ある

のを知らなかった程のスポーツオンチでした) かつこ良さに憧れ、友人の息子さんのラケットを借り市の講習会で軟式テニスを始め、その後、団地内のコートでみかけた硬式テニスもやってみたくなり、抽選で市の教室に入り、講習会終了生で運営しているグループで楽しんでいます。

テニスを始めたお陰で、28年前、同時に埼玉と仙台に転勤になりお別れしたIさんと、東北の温泉地で毎年会えることになったのです。3年前からラケットを担いで彼女達埼玉グループと私達が合流し、テニス合宿と称して腕とお肌を磨いております。一昨年は、二本松の岳温泉と三春の滝桜、今年は那須温泉とビール園で鍛えてきました。(どこを?) 21世紀第一回はIさんに幹事をお願いし、どこでお会いし、何を食べようか楽しみにしております。子育てが終わった後に、こういう50代があるとは予想していませんでしたが、無理せず、他の趣味も楽しみながら、永くテニスと付き合っていきたいと思っています。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆吾輩は迷犬タロウ

星 健輔

吾輩は、名犬ならぬ迷犬「タロウ」です。テニス会場では皆様とお会いしており、ほとんどの方は多分吾輩をご存じの筈。年齢はもうすぐ11歳(人間では60歳)。秋田犬とポインターを親とし、一見ラブラドル・レトリバー風のミックス犬で、体重32キロ。数年前までは中型犬の標準タイプと自負していたのだが、悔しいかな腹の具合は隠せず残念な限り。主人の連盟への入会と同時に、吾輩は特別家族会員となり、すでに8年が経過した。各種大会やウイークデイには主人にお供してよく会場に行くが、少なくとも7~8時間も待たされるのがザラ。

吾輩はテニスのことなど分からないが、試合の合間に主人が会場周辺の散歩に付き合ってくれるだけで満足である。

会員のメンバーには、ご夫婦そろっての入会者が多いとか。仲良く”フーフダブルス大会”等に出場して気兼ねなくプレーしている姿がほほえましく、羨ましい限りという主人。

夫婦仲を長続きさせる秘訣は「お互いに共通の趣味を持つことだ」と云い、同じ趣味のない主人とおかみが発山を始めた昨年、山形県の月山(標高1980米)に吾輩を連れて、湯殿山側から登り始めた。ところが途中で予期せぬ”鉄のハシゴ”があり「タロウには無理」と云って引き返した。「登山にタロウを連

れて来るからだ」とおかみ。「タロウだって家族の一員だぞ」と言い張る主人。いくらおかみと主人の夫婦ゲンカでも吾輩は絶対食べませんから。ところでおかみと主人の夫婦仲を左右しているのは、もしかしてこの吾輩?



タロウの写真

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

室内(シェルコムせんだい)

★ ★ W E E K D A Y 交 歓 会 ★ ★

開催のお知らせ

平成13年に開催される国体を機に新設された、室内競技場テニスコートで冬季間のWEEKDAY交歓会が開催出来ます。長年、公営の室内テニスコートの実現を待ち望んでいましたが、漸く実現したのです。100%期待通りのコートではありません。冬季間、冷たい北風に吹かれ、鼻水や涙を流すことなく冬のテニスが楽しめることは嬉しいことです。開催の方法等は従来のWEEKDAY交歓会と同じです。朝9時より午後5時まで開催いたしておりますので都合の良い時間にご参加下さい。前もっての参加申し込みの必要はありません。参加料は一人につき1000円となり若干の割増となります。

- 第1回交歓会 1月 18日(木)
- 第2回交歓会 2月 2日(金)

これらの「WEEKDAY交歓会についてのお便り」は別途にはいたしませんのでご注意下さい。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

編集後記

委員長挨拶の中でも述べられているように、今年が高松市テニス連盟創立15周年にあたります。記念行事としては、泉総合運動場テニスコートで11月に開催した「連盟テニス祭り」に限りましたが、多数の参加者により楽しくかつ賑やかに一日を過ごしました。

会報については特別号発行のご意見もありましたが、10周年で特別号を出したことを踏まえて、20周年まで待とうという意見に落ち着きました。しかし、今回の会報 NO.30では皆さんから多数の投稿を頂きまして、10周年特別号以外での最大ページ立てとなりました。仙台市高齢企画課からは、ねりんピックについての内容紹介を詳しく書いていただきました。また、今年、ねりんピックに参加されて活躍された多くの会員の方々からのレポートもありました。千葉に移転された本協会員からの中身の濃い「現地テニス実情」の報告が届きました。平井会員の「テニス理論・くりくりボール」の解説も載せることが出来ました。その他、多くの会員の方々の「私のテニス」、「私の意見」も掲載出来ました。出采がってみますと、創立15周年特別号のようにになりました。次号からの会報も会員の方々の沢山の投稿があって、毎号「特別号」にしたいものです。いよいよ新世紀の始まりです。

2001年にはもっともっと楽しいテニスを一緒に！！

編集発行 宮城県壮年テニス連盟運営委員会
事務局